

# ハッピー エンボ

No82

発行日：2015年1月27日  
編集：認定NPO法人 葬送を考える市民の会  
住所：〒060-0061  
札幌市中央区南1条西9丁目5-1  
札幌19Lビル 202号

TEL・FAX 011-261-6698  
携帯（緊急用）080-6091-6919  
Email [shimin@soso-npo.com](mailto:shimin@soso-npo.com)  
[sosominna@gmail.com](mailto:sosominna@gmail.com)  
URL <http://soso-npo.com>  
<http://葬送を考える市民の会.com>

- 高齢向け施設に関するアンケートから 2P~4P
- 講座「古いアルバム整え講座」報告 5P
- 講座「仏教講座」報告 6P
- 講座の案内 7P~11P
- 葬送雑感 12P
- 会員紹介 13P
- 日々是好日 14P
- 事務局の日記から 15P
- おしゃべりサロンなど 16P

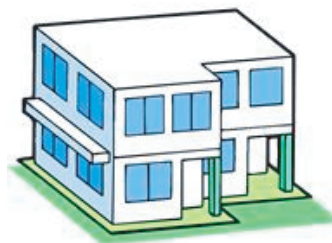


次回の会報は4月末発行予定です

特集

## 高齢者向け施設に入居されている方のアンケートから ～高齢者向け施設を考える～

高齢期の不安の一つに住まいの問題を上げる方が多くいらっしゃいます。実際の入居に当たっては、最期までいられるか、金銭的な問題など、多くの不安もあるようです。今回は実際に高齢者向け施設に入居されている会員さんにアンケートを行いました。



アンケートにご協力いただいた方6名は

◆Aさん(80代) 夫婦で有料老人ホーム(※1)入居10年 部屋の広さ48.84㎡

施設に支払う一か月の費用は二人で約17万円(夕食費込)・介護保険利用

朝昼食は自炊、夕食は食堂でとる。一週間分ごとに、申し込む。

取消や追加は可能。お風呂は部屋にシャワーがあるが多くは

大浴場を利用、週6日決められた時間内に入浴

※1 生活援助や緊急時の対応、レクリエーションが受けられ、設備などが充実しているところが多い。介護が必要な場合は、サービスを利用しながら生活できる。入居一時金が高額なことが多い。

◆Bさん(60代) 夫婦でサービス付高齢者住宅(※2)入居2年 部屋の広さ39㎡

施設に支払う一か月の費用は管理費のみ二人で約9万円(食費は別途)

食事時間内であれば、事前申し込みなしで食堂で自由に食べ

ことができる。自炊可、入浴は大浴場を利用

※2 バリアフリー対応の賃貸住宅で、高齢者が、安否確認や生活相談などのサービスを受けられる。

◆Cさん(70代) 単身でケアハウス(※3)入居2年 部屋の広さ23.12㎡

施設に支払う一か月の費用は約10万円(食費3食込)

食事が不要の時は3日前までに申し出ると減額になる。

自炊は不可。決められた時間内に入浴。

※3 助成制度を利用できるため、比較的費用負担が少なく、60歳以上の高齢者が、食事や洗濯などの生活介護を受けられる。

◆Dさん(80代) 単身で高齢者専用賃貸住宅(※4)入居3年

施設に支払う一か月の費用は約11.4万円(食費2食込)

自炊可。食事が不要の時は事務に一言でよい。

大浴場を利用

※4 高齢者限定の賃貸住宅で、バリアフリーやサービスに関する規定はなく現在は「サービス付き高齢者向け住宅」に一本化されている。

◆Eさん(60代) 単身で高齢者向け優良賃貸住宅(※5)入居5年

施設に支払う一か月の費用は約6.5万円(食事なし)

食事は自炊。好きなものを買って作っている。

お風呂は自室で大風呂はない。

※5 高齢者が契約しやすい賃貸住宅で、バリアフリーに対応しており、現在は「サービス付き高齢者向け住宅」に一本化されている。

◆Fさん(80代) 単身で有料老人ホーム(※1)入居6年 部屋の広さ47㎡

施設に支払う一か月の費用は約17万円(食費3食込)

自炊も可。食堂で3食とっている。自室にも浴室がある。共同の浴場利用

家財道具などの持ち込みが多く、充実感がある。

次のページへ続く

## きっかけは

- Aさん:** 40代後半から自分の老後のことを考え、子供に迷惑をかけないためにも有料老人ホームにはいることが理想という結論に至り、入居のための準備をしてきた。
- Bさん:** 子どもがいないため心身が十分な時に夫婦で終のすみかに移りたかった。
- Cさん:** 連れ合いの死去でひとり暮らしが困難になった。
- Dさん:** ひとり暮らしは気楽だが、年齢と共に不安になってきた。
- Eさん:** ずっと一人暮らしをしてきたので、安心できる生活がほしかった。退職と同時期に転居したかった。
- Fさん:** 他地域の有料老人ホームに住んでいたが、終身まで自立した生活を送るため、環境等を考えて、生まれ育った北海道に戻ることを決めた。

## 決め手になったのはどんなところか

- Aさん:** 終身介護で、病気になっても最期まで面倒を見てくれる。入院時の保証と手続や通院時の送迎がある。娯楽施設が充実している。プライバシーが守られている。  
交通の便が良く、自室の条件もよい
- Bさん:** 交通の便が良いこと、自室の条件がよい
- Cさん:** 交通の便が良い、施設の設備もよく入居費が予算内
- Dさん:** 施設の周りの環境が良い、管理人の人柄がよい
- Eさん:** 交通の便が良く、施設の設備もよくきれいで キッチン付
- Fさん:** 街の中心部に近く、交通の便もよい、整備された公園、図書館が近い

## 他の施設などの見学や検討はどのくらいしましたか

- Aさん:** 当時有料老人ホームは5か所しかなかったが、機会があるごとに全施設の見学会や説明会に参加した。
- Bさん:** 入居の15年前から、施設の説明会に参加して勉強していた。たまたま新聞で見たある施設の記事に、何かしら引かれる思いが抜けず一人で施設を見学した。その後夫婦で見学検討を続け、年齢的に早すぎると思いつつ入居を決めた。
- Cさん:** 2年ほどかけて、札幌市内のケアハウスを5~6件見学、検討した。
- Dさん:** 友人と一度だけ見学した。体力が弱ってきていると感じて、今がチャンスと思い決断した。
- Eさん:** 退職を迎えてすぐに引っ越したかったので一年間かけて準備した。現在のところが気に入り、空き部屋があるうちに予定より2か月早く契約した。
- Fさん:** 最初の施設の時はいろいろなタイプのものを見た。今、思う事は、地域に根ざした施設が良さや事業主の考え方により居住者が幸せに過ごすことができるかどうか決まると感じている。今の所はさほど時間はかからなかった。いくら見ても似たり寄ったりで・・・  
覚悟をもって入居するしかないと思う。



次のページへ続く

## 良かったと思うところ

- Aさん:** 子どもたちに終生面倒をかけないで済みそうだ。老後の生き方について、入居者と共通点が多く、心強い。
- Bさん:** 安心感がある。手軽に運動や趣味のものに参加できる。同じような境遇の人が多く、気持ちの部分で共有できる。
- Cさん:** 三度の食事や入浴が毎日できる。健康面で施設に相談できる。市内中心に近く病院に近い。
- Dさん:** 転居で不用品をかたづけられ、子どもたちに心配かけなくて済むくらい整理ができた。
- Eさん:** 隣接の部屋の物音はしないので、気を使わないで生活できる。南向きで日当たりが良い。ベランダがあり、収納ができる。
- Fさん:** 自らの人生設計の一つを実現したことで安心の日々が送れている。

## 問題点

- Aさん:** 多少なりとも人間関係
- Bさん:** 職員の経験不足を感じるが、問題点を指摘することで徐々に改善されている。
- Cさん:** 夕食の時間が早いので帰宅時間を気にしなければならない。
- Dさん:** 人間関係が難しい。
- Eさん:** 今後あるかもしれないが、今はまだない。
- Fさん:** エレベーターのみで階段がない。談話スペースがない。職員の休憩所も不足で全体に無理なつくりになっている。

## これから考えている方へアドバイスなど

- Aさん:** 資金計画は十分に事前の検討が必要
- Bさん:** 住み替えは大きな決断と体力が必要で、心身ともに余裕のある時に行った方がよい。100%希望が叶う施設を探すのは難しい、最低限の希望条件を持って探す。
- Cさん:** できるだけ多く見学し、入居者の意見を聞く。十分納得したうえで決める。
- Dさん:** 勧められてすぐに決めないで、よく考えてから決める。
- Eさん:** 納得するまで探し、若い時期に決断して入居し、余生をゆっくり楽しみたい。
- Fさん:** 施設見学の際、入居者の話を聞く。遠慮しないでたずねて、確かめることが大事です。

## アンケートから

今回のアンケートに答えていただいた方は、何かあったときのために備えて、元気うちに決断して入居しています。入所により安心して快適なセカンドライフを送られているようです。

高齢者施設の種類の多様化して、どんなところがいいかという声をよく耳にします。施設を選ぶには、施設が提供できるサービスなどの情報集めはもちろんですが、実際に入所されている方の声を聴くことも大切なようです。

アンケートにご協力いただいた皆様には深く感謝いたします。尚、限られたスペースのため全文を掲載できなかったことをお詫びいたします。